

病院長名	高田 基志
所在地	〒491-8551 愛知県一宮市桜一丁目9番9号
交通案内	「名古屋駅」もしくは「岐阜駅」から JR「尾張一宮」まで約8分。 JR「尾張一宮」駅から病院まで徒歩約10分。



病院の特徴

総合大雄会病院は1924年に開設され、100年余年にわたり、地域の人々の健康を守る重要な役割を担ってきました。救急医療・先進医療・予防医療を柱とする急性期医療を担い、2010年には三次救命救急センター、2011年には地域医療支援病院の指定を受けています。また、重症患者の迅速な受け入れに対応するため、屋上にはヘリポートを完備し、三次救急医療体制のもとで高度かつ迅速な救急医療を提供しています。さらに、一般外来を担う大雄会クリニックや、地域包括ケア病棟・回復期病棟を有する大雄会第一病院が近接しており、各施設が密接に連携しながら、急性期から回復期、地域医療まで一貫した医療提供を行っています。

研修の特徴

① 幅広い症例を経験できる三次救急病院

尾張西部医療圏の中核を担う356床、標榜科31科を有する急性期病院です。三次救命救急センターとして、重症外傷や急性腹症を多数受け入れ、高度な外傷診療だけでなく、一般外科と合同でいつでも緊急手術ができる体制を整えているため、経験値の幅が広がります。

② 初期対応力を養う教育体制

一般診療で遭遇する疾病や外傷に対し、適切なファーストタッチが行える力を身につけることを研修の目標としています。実地での診療経験に加え、各種勉強会を通して体系的に学ぶ機会を設けており、医師だけでなく薬剤師や臨床検査技師など職種による指導を受けられる点も特徴です。

③ 自主性を尊重した研修プログラム

2年目には研修医自身が診療科を選択できる期間を設けており、将来のキャリアを見据えた研修が可能です。研修医の自主性や積極性を尊重し、自ら考えて研修を組み立てられるプログラムとなっています。



【専門研修】

◆ 基幹プログラム (基本領域)

内科、外科、整形外科、救急科 (2026年4月開始)

◆ 連携プログラム (基本領域)

内科、外科、整形外科、小児科、皮膚科、精神科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、救急科、形成外科、リハビリテーション科、総合診療科

メッセージ

指導医 (プログラム責任者: 武鹿 良規)

鉄は熱いうちに打て！正に初期臨床研修に当てはまる言葉だと思います。鉄を良く打って、焼きを入れて、水につける…まるで拷問 (!?) のようです…。鉄は熱いうちによく打つことで不純物が外にでて、純度の高い、柔軟性のある鋼に生まれ変わります。さらに焼きを入れて水や油で冷却することで、より硬度の高い鋭利な刃となります。臨床研修も同じで、たくさんの症例を経験することで、臨床に必要な、幅広い知識と技術が身に付きます。時に指導医からの厳しい指導を受けますが、その先には成長した姿があります。その成長した姿に指導医と共に喜びの涙(?)を流します…。2年間は短いですが、とても重要な時期だと思います。充実した研修、生活が送れるように全力で見守っていきます。



研修医

大雄会での初期研修を通して、自分が大きく成長できたと感じているのは、総合病院ならではの幅広い臨床経験と、当直での救急外来研修です。特に、研修開始当初は、救急外来で次にどのような患者さんが来院されるのか分からず、不安と緊張の連続でした。



救急外来では、切創や挫創、打撲骨折といった外科症例から、上気道炎、肺炎、胆嚢炎や虫垂炎など、時には大動脈解離やSTEMIなど重症症例もウォークインで来られます。三次救急医療の現場ではありますが、一つ一つの症例に丁寧に向き合い、自分で考えながら初期対応を行い、判断に迷った際にはすぐに上級医へ相談できる体制が整っていました。また、診療後には上級医から適切なフィードバックを受ける機会があり、できなかった点や課題を次の診療に生かすことができました。病院規模は大きくありませんが、疾患の数や種類は十分そろっており、経験できる疾患も手技も豊富に存在しています。研修医が行える手技の範囲も広く、指導も手厚く受けることができ、少しずつ「自分で診る力」が身についていくのを実感しました。こうした日々の積み重ねが、現在の自分の臨床の土台となっています。

募集要項

・採用実績	2024年度 6人	・2025年度 6人
・給与/月額	1年次 約450,000円 他、諸手当(時間外手当等)あり 1年次賞与約845,000円、2年次賞与約1,375,000円 1年次年収約6,250,000円、2年次年収約7,750,000円	2年次 約531,250円
・当直回数/月	5回	宿日直は勤務扱い、当直明けは振替休日
・当直料/回	1年次 15,000円	2年次 25,000円
・その他	有給有、学会補助有(海外を含む)、福利厚生有、 担当者 臨床研修センター 地搦(ちづき)	
・応募連絡先	電話番号 070-6985-8303(直通) Eメール resident-c@daiyukai.or.jp	